

# 進路だより

〈第6号〉

令和4年10月19日発行

須賀川創英館高等学校進路指導部

本校就職内定率（民間）は73%（令和4年10月3日現在）

9月16日から開始された試験の結果が学校に届いています。今年は県内外から450社以上の求人があり、本校にもたくさんの企業の方々が来校されました。

夏休み中から、就職希望の3年生は、学年担任、進路指導部をはじめとする先生方の指導の下、内定を勝ち取るために事業所見学、就職セミナー、履歴書の作成、面接練習に取り組んできました。昼休みや放課後は、進路室が3年生でいっぱいになることもあり、その意識の高さがうかがえました。また、面接練習においては、積極的に多くの先生方へ依頼にいき、自分が納得するまで練習を繰り返す姿が見られました。最初は自信がなさそうに受け答えをしていた人も、練習を重ねるにつれて、はきはきと大きな声で答えることができるようになり、努力の成果が感じられました。

進路室には9月下旬より、毎日のように就職試験の結果が届いています。現在のところ、就職希望者（公務員を除く）70名のうち51名が内定をいただいています。73%の内定率です。また、一回目の受験で残念ながら内定をいただけなかった生徒も、自分の希望を叶えるために気持ちを立て直し、すぐに次の就職先を検討してチャレンジしています。

公務員希望者は県警、自衛隊、市役所など8名が受験に臨み、試験合格に向けて頑張っています。

1・2年生のみなさん。（特に2年生は、入社試験まで一年を切っています！）欠席しない、学力向上に励む、服装・頭髪をきちんと整えるなど、今できることからスタートし、一刻も早く進路目標を決めて強い気持ちで来年に向かいましょう。



## 採用内定を受けたら

採用内定した皆さん、おめでとうございます。採用内定通知は以下のような不都合が生じた場合は取り消されることがあります。くれぐれも注意してください。

- ・健康上の問題ができた場合
- ・生活行動面に問題が出た場合
- ・学業成績が著しく低下した場合
- ・欠席・遅刻・早退が著しく増えた場合
- ・卒業できない場合

せっかく手にした内定です！  
卒業までの時間を有意義に過ごし、  
立派な社会人としてスタートを  
切りましょう！！



## 就職試験を終えて ——内定者の声



就職試験を終えた3年生から、試験に向けて頑張ったことや1・2年生へのアドバイスを聞きました。（企業名や氏名は掲載しません）ぜひ参考にしてください。

私は、特に面接練習に力を入れました。多くの先生方に練習をしてもらった結果、心に余裕が生まれ、笑顔で面接に励むことが出来ました。「塵も積もれば山となる」のことわざの通り、積み重ねが大切だと改めて実感しました。これから、就職や大学の試験を受ける皆さんは後悔がないよう何事も日々の練習を大切にしていってください！

私は、試験に向けて面接の練習を頑張りました。何度も練習したため、本番でもしっかりと全力で取り組めたと思います。実際の試験でも、作文や検査などがありましたが、面接が一番よく見られていたと思います。そして、話す内容よりも、話し方や態度のほうがよく見られていたと感じました。

今回の就職試験を通して、学校での面接練習などがすごく活かしたなど実感しました。練習のうちから先生方に1つでも多くのアドバイスを頂くことで、本番の試験においても落ち着いて話すことができたのだと感じました。学科試験も問題集で対策をしっかり行うことができれば解ける問題が多いので、サボらずに継続することが大切です。

私が試験に向けて頑張ったことは2つあります。1つ目は、過去のレポートを見て、出題されそうな問題を繰り返し解いたことです。2つ目は、面接です。何を質問されても答えられるように、時間をかけて何度も練習しました。

本番ではとても緊張しましたが、練習の成果を発揮することができました。

## 進学へ向けて

10月11日現在、大学106校、短期大学38校、看護学校2校、専門学校135校から指定校をいただいています。昨年度とほぼ同数となっています。現在は、入試に向けて着々と準備が進められています。Web出願の学校もありますので、確認しながら確実に手続きを行ってください。また、志願理由書だけでなく、事前課題提出が必要となる学校もあります。日にちに余裕をもって取り組んでください。小論文の作成や面接練習など、合格へ向けては、地道な努力の積み重ねが必要です。毎日やるべきことを、今後もしっかり行っていきましょう。その努力が実を結ぶ日が来ることを願っています。

推薦入試については学校案内や入試要項を隈無く読み込むことはもちろんのこと、過去のデータが非常に重要です。情報の収集にあたっては、ベネッセのハイスクールオンラインをぜひ活用してください。また、過去に受験した先輩の受験報告書も参考になりますし、過去問等の入試関係の本にも目を通しておくことをお勧めします。進路室に資料がありますので、必ず一度は目を通すようにしてください。